



印西市立印西中学校

自立貢献

学校だより

令和8年1月9日発行

No. 13 発行者 坂野 峰子



いじめ・体罰相談窓口：宇井・木島・川本・山本達・大川・新村・和田・教頭・校長
セクハラ相談窓口：新村・綿貫・高木・木島・宇井・和田・教頭・校長

有終の美を飾る学期に！



保護者の皆様、地域の皆様、新年、おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。以下、3学期始業式、生徒たちに向けた校長の話です。※話しことばです。

皆さん、あけましておめでとうございます。

3学期がスタートしました。3年生は42日の登校、1・2年生は、51日の登校です。

特に3年生の皆さん。いよいよ高校入試、そして義務教育9年間の締めくくりの時期がきました。

皆さんは、今、自分の進路という大きなハードルを越えようとしています。不安もあるでしょうが、これまで積み重ねてきた努力を信じてください。

中学校生活は、残りわずかです。最後まで自分を磨き『有終の美』を飾ってほしいと思います。『有終の美』とは、単に結果を出すことだけではありません。卒業の日まで、仲間とともに一日一日を大切に過ごし、感謝の気持ちをもって巣立ってゆく姿こそが、本当の『有終の美』です。義務教育終了の姿を、しっかりと家族、後輩、先生方に見せてください。

1・2年生も次のステージに進む準備です。4月にはそれぞれ進級し、先輩としての新しい役割が待っています。そのためには、まず、1・2年生の手で『予餞会を成功させる』ことです。これまでとは違った達成感が味わえるはずです。学習や行事、生徒会活動など、今のクラス、今の学年での「まとめ」をしっかりと行い、自信をもって次のステージへ進んでほしいと思います。

最後に、1年間の大きな節目は、卒業式です。

全校生徒が揃う最終日です。合唱コンクールの日にも話しましたが、心を一つにして、最高の合唱、最高の式典にしましょう。

今年は、午(うま)年です。この3学期が、皆さんにとって馬のごとく「飛躍」「前進」の学期となることを祈っています。

3学期の抱負



1年生代表 I.M さん

冬休みも終わり、いよいよ3学期となりました。3学期は、1年の中で1番学校に登校する日が少ないです。しかし、予餞会や定期テストなど頑張らなければならぬものが多いです。一つ一つのことをしっかりと頑張りたいです。



4月から、私たちは2年生になります。担任の先生からは、「1年生の3学期は別名『2年0学期』でもある」と教わりました。これは、4月に先輩となってから動き出すのでは遅い、だから3学期が始まる今日から、4月に向けての準備をしてほしいという意味だと思います。この3学期から心を引き締め、一人ひとりが自覚を持って行動したいと思います。

自覚を持って行動するためには、普段の生活習慣を見直すことが、とても大切だと思います。授業中と休み時間の切り替えや遅刻をしないなどの当たり前を当たり前にできるように、1学年全体で頑張りたいと思います。そして、4月となり、私たちが2年生になった時には、後輩たちを引っ張り、よりよい学校にできるようにしたいです。

あと少しの1年生でいられる時間を大切にしていきたいです。

2年生代表 K.H さん

私たち2年生は、「切磋琢磨・メリハリ・積極性・気配り・時間厳守」を目標に、後期をスタートしました。2学期は、職場体験学習を通して、マナーや礼儀、目標を立てて働くことの大切さ、大変さを学ぶことができました。将来になりたい自分になるための目標を立て、それが実現できるよう日々の中学校生活を大切にしていきたいです。



具体的には、休み時間から授業への気持ちをしっかりと切り替え、2分前着席を徹底し、さらに、2分前学習の時間を習慣化をしていきます。主体的な学びを心がけ、積極的な気持ちで授業に臨み、学力を高め合っていきましょう。

3学期は、予餞会、卒業式など、とても大事な行事があります。学校が一丸となり、取り組むことは簡単ではありません。一人ひとりが責任を持って行事の成功に向かって取り組んでいきましょう。1年生は、私たち2年生についてきてください。3年生は、1・2年生の頑張りに期待してください。

3年生代表 O.S さん

2025年も終わり、2026年が始まりました。私たち3年生にとって、最後の学期、そして受験が間近に迫ってきました。そこで、私は2つの目標を立てました。



1つ目は、受験までの最後の最後の時間を後悔のないように過ごすこと。2つ目は、中学校卒業後の準備を始めること。

1つ目の受験までの最後の時間を後悔のないように過ごすというのは、言葉通りで、私たちには受験までほとんど時間が残されていません。ですから、ダラダラと時間を無駄にするのではなく、改めて苦手な教科や分野と向き合い、やれることを1つでも増やし、自信に繋げていきたいと思ったからです。

2つ目の中学校卒業後の準備を始めるというのは、受験は合格することがゴールではないからです。高校に入ると勉強の内容も難しくなると思います。また、生活環境もこれまでとは異なるはずです。ですから、合格が決まってからも、中学校範囲の復習と高校教材の予習をしたり、自分の生活習慣を整えたり、スムーズに高校生活をスタートさせるための準備をしていきたいです。

残された日々を、学年生徒78人が切磋琢磨し、苦しい受験も乗り越え、卒業式には笑顔で、胸を張って、ステージに立ちたいと思います。私たちの学年は、強い絆で結ばれていると信じています。



全国学力・学習状況調査の結果



4月15日(火)に、全国の中学生3年生を対象に調査が行われました。これは、全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的にしています。ですから、正答率のみにとらわれることなく、生徒の学力傾向や学習状況を正しくとらえ、学びの現状を把握して、得意な部分を伸ばしながら、課題が残った部分を改善していくように、本調査結果を生かしていきたいと考えています。また、生徒主体の「魅力ある授業づくり」「わかる授業づくり」に向けて、さらに授業改善に努めてまいります。

【国語に関する調査結果】

本校の全体的な結果は、全ての項目において県平均・全国平均を下回った。学習指導要領の内容では、「知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力等」とも、県平均・全国平均を下回った。問題別においても、県平均・全国平均を下回った。大きく下回ったのは、「読み手の立場に立って表記を確かめて、文章を整える」「表現の効果について、根拠を明確にする」「事象や行為を表す語彙について理解している」「文章の構成や展開について、根拠を明確にする」であった。



【数学に関する調査結果】

本校の全体的な結果は、全ての分野・項目において県平均及び全国平均を下回った。学習指導要領の領域別では、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の全ての領域で県平均・全国平均を下回った。問題別では、「事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげることができる」「式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することができる」が平均を上回った。平均を大きく下回ったのは、「一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができる」「不確定な事象の起りやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」「総合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善することができる」であった。



【理科に関する調査結果】

本校の領域別の結果では、「粒子」を柱とする領域では、県平均を上回った。問題別では、県平均及び全国平均を上回ったのは、「科学的な探求を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探求から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現できる」「加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いている」「地域の言い伝えを科学的に探求する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がりを推定できる」が平均を上回った。県平均、全国平均を大きく下回ったのは、「生命を維持する働きに関する知識が概念として身についている」「化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルにすることができます」であった。

【生徒質問紙の調査結果】

多くの項目で、80%から90%を越える肯定的な回答であった。

「先生は、あなたのよいところを認めてくれているか」「人が困ったときに進んで助けているか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」「自分と違う意見について考へるのは楽

しいか」「友達関係に満足している」等の質問に対する肯定的な回答の割合が県及び全国値よりも高かった。

「将来の夢や目標を持っているか」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」「学校に行くのは楽しいと思うか」「分からぬことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできているか」は、県平均及び全国平均を下回った。学力向上の基盤となる基本的生活習慣に関する質問の中で「朝食を毎日食べているか」「毎日同じくらいの時間に寝ているか」に対する否定的な回答が1割を超えていた。

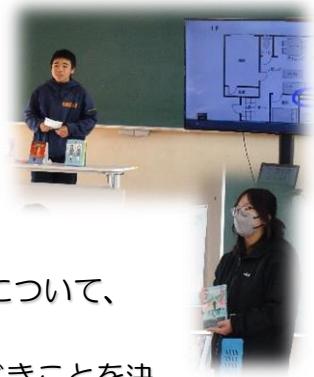
学習に関する質問の回答は、次のような結果であった。

《県や全国値と比較して低かった項目》

- ・地域の大人に、授業や放課後など勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりしたこと。

《県や全国値と比較して大幅に高かった項目》

- ・読書が好きである。
- ・1、2年生のときのときに受けた授業で、ICT機器使用状況。
- ・PCやタブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができる。
- ・1、2年生のときに受けた授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。
- ・1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方について気付いたりすることができた。
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができた。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれた。
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組めた。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ。



4月よりも生徒たちは、生活面や学習に対する意欲など様々な面で、大きく成長し、伸びてきているという手応えを感じています。今後も学習指導要領の趣旨を踏まえ「主体的・対話的で深い学び」の視点を持ちながら、引き続き、授業形態や指導法の工夫改善に努めて参ります。



※敬称を省略させていただきます。

◆千葉県U13ソフトテニス選手権大会印旛支部予選
3位 Y.K / I.M



◆千葉県アンサンブルコンテスト
木管8重奏 銅賞 S.M/A.R/S.R
H.M/A.A/R.Y
I.K/K.M
金管8重奏 銅賞 T.W/M.H/N.Y/N.A
I.M/S.Y/M.K
S.Y/I.S

